

衆議院議員

# 辻元清美 国政NEWS

つじとも通信 VOL.24  
2011.12.12

連絡先・編集：辻元清美とともに！市民ネットワーク

高槻事務所 ●〒569-0805大阪府高槻市上田辺町6-20 寺本レヂデンス2F  
TEL072-686-2395 FAX072-686-2396

国会事務所 ●〒100-8982東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館504 TEL03-3508-7055 FAX03-3508-3855

URL ●<http://www.kiyomi.gr.jp/> E-mail ●[info@kiyomi.gr.jp](mailto:info@kiyomi.gr.jp)  
本誌の記事・写真などの無断転載・複写を禁じます。



## 希望を紡ぐ政治へ シフトできるか。

今年も日本も世界も、そして私の地元大阪も大激動の年になりました。

日本国内では三・一一の東日本大震災の地震・津波、そして福島第一原子力発電所の重大事故。海外に目を向ければ、欧州財政危機の連鎖、米ウォール街での格差解消座り込み。

そして大阪ではW選挙での橋下旋風。今までの政治や経済や社会のあり方が大きく問われ、私は歴史の転換点の年になるのでは、と思っています。

そんな中で私にとつてのこの一年間の最大の成果は「NPOなどの税制改正」と「浜岡原発停止」です。この二つは世の中の動きや価値観を転換していく力を内包した政策決定だと自負しています。

ボランテニア担当の内閣総理大臣補佐官として被災者支援に全力投球してきましたが、中央官僚機構の縦割りや国・県・市町村の意思疎通の悪さに歯軋りを

し、危機における政治の力の限界を、内閣の中枢にいた分、今まで以上に思い知る日々でもありました。

しかし、なんとか希望を見つけ出し、戦後続いてきた中央官庁や地方自治体の硬直性に風穴を開けたい。そんな一念で実現にこぎつけたのがNPO法大改正です。

震災ボランテニア連携室と一緒に仕事をしてきた内閣官房参事官から「改正に向けて危機迫るものがありました。執念ですね」と言われました。制度疲労を起している官僚システムを批判するだけでは変わりません。NPOを中心にした新しい公共活動の展開を各地で広げていくことが「官」の質をも変えていくはず。漢方薬のような政策です。

原発政策の転換も一筋縄ではいきません。一月二〇日から二三日まで、四日間に渡る「提言型政策仕分け」が行われましたが、第一日目「原子力」政策の議



写真上から  
・最終日の「中小企業」仕分け。  
・仕分け本番直前の楽屋でアツイ議論。  
・内閣府の蓮舫大臣室で仕分け人の初顔合わせ。  
・ネット公開や会場運営など、多くのボランティアの方々に支えられた。感謝!

論の場で飛び出した文部科学省官僚の発言に、私は愕然としました。「これまで除染などの原発事故対応の研究はどれくらい行ってきたのか?」という質問に対して「今までは行つてこなかった」という。  
さらに「なぜ、行つてこなかったのか?」と問われて「事故対応の研究をする」と、原発は事故が起こる、危険なものだと認めることになるので、研究してこなかった」と言うのではないですか。このような前提で原子力政策を国策として進めてきたのです。

欧州財政危機やアメリカ

私は戦前における最大の国策の過ちは、日本は負けないという神話のもとで突っ込んでいった「戦争」であり、戦後の最大の国策の過ちは、事故はないという神話を前提にして進められてきた「原子力政策」だと考えています。  
今後は国家が過ちを犯すという前提からエネルギー・シフトの議論を進めていくように、枝野経済産業大臣や細野原発事故対応大臣などに働きかけています。

政権の中で、七転八倒したものの、問題点を実感したということは、裏を返せば、どこを変えなければならぬのか今まで以上にク

での格差問題は日本をはじめ先進国と言われる国々が等しく抱える危機です。先日、米国大使館の政治部幹事と議論をしたとき、「日米ともに先進国だという過去の栄光の残像を捨てなければならぬ。今までの政治や経済のあり方の『没落』を受け入れるところから政策の再構築をしなければならぬ」と私ははつきり伝えました。

辻元清美

リアに見えたということですから。  
政治は「希望の組織化」であり「妥協の芸術」である。初当選のときからの私の行動原理の座標軸です。民主党に入つて二カ月、良いことから悪い事からも学びながら、今まで以上に自分をバージョンアップさせて、希望を紡ぎだす政治の実現に力を注いでまいります。

- ついて調査報告
- 12:45 代議士会
- 13:00 本会議
- 終了後、国交委員会理事懇談会
- 15:40 復興特委員会
- 17:30 女性展望
- 鼎談(村木厚子さん、西館好子さんと)
- 19:00 経済・金融勉強会「欧州財政危機」
- 25日(金)**
- 8:00 中川宝塚市長と面談
- 8:30 郵政三党合意を実現する会

- 8:45 復興特委員会
- 10:00 自然エネルギー関係意見交換
- 12:00 国交委員会理事会
- 12:15 国交委員会
- 12:45 BS朝日「田原総一郎・激論! クロスファイア」収録
- 大阪ダブル選応援へ
- 26日(土)**
- 終日ダブル選応援
- 27日(日)**
- 早朝の飛行機でソウルへ: 日韓韓日議員連盟合同総会(〜28日)

東日本大震災復興特別委員会にて。野田総理の答弁を聞く。



# ドキュメント・提言型政策仕分け 「失敗認める勇気」で政策転換を

10月21日（金）、私の携帯が鳴った。「仕分け人になってもらえませんか」と前原政調会長。個々の事業の是非より政策の根本を議論する「提言型政策仕分け」だ。

私が基本にすえたのは「失敗」を認める勇気。「補助金ありき」の政策が「組織存続」のためになっていないか。かえって研究開発を妨げ、若者のビジネスチャンスを阻害し、意欲ある人の就学機会を奪っていたのでは。やる気のある人が資源を自ら集めやすくするための政策転換を目指し本番に臨む。

初日の「原子力」を終日傍聴、「もんじゅ」は「抜本の見直し」に。

二日目の「教育」。私はまず「今年実現させた私学への寄付の税額控除を国立大学にも認め、自主財源の確立を」と提言。さらに、「入りやすく出にくい大学を」「やる気があっても進学できない子たちが出てきている」と格差の連鎖を指

摘。「被災地ボランティアには様々な学生がきた。地域リーダーを生むため、社会の課題解決につながる活動も評価指標にすべき」と私。

続く「研究開発」、私は『「国策」として進められてきた研究は？失敗例は？』『除染や廃炉研究に国際的な関心が集まっている。研究開発には時代性・社会性が必要では』と指摘していた。「40年間で1兆円つぎこんだ『もんじゅ』は途中で止める議論はなかったか？失敗例が『特定できない』では今や通用しない。昨日の議論で『事故が起こるのか、そんなに危ないのか、と思われるので原子力事故対応の研究は行ってこなかった』と文科省は発言したが、大きな前提の過ちだ」と発言。再度問いつめ「国策研究」に途中評価のしくみがないことが明らかに。

「ハタチのジョブを見つけられないのは何故？ 判定基準が古く

なっているのでは」「研究成果が課題解決に生かされてこなかった、という認識を多くの研究者が抱いているように研究のあり方を根底から検討するチャンス」と訴えた。

最終日の「中小企業」。なんと商店街活性化の補助金は、売り上げや収益でなく「通行量」が指標！セーフティネット議論は別途必要だが「商売は儲からねば成功とはいえない。今の補助金のあり方はむしろ意欲をそぞかねない」と指摘。「持続可能にするには①売り上げ②水平展開を指標にすべき。活性化を成功させたプロジェクトや中間支援団体への税制優遇など、トータルな支援を」と訴えた。中小企業海外販路拡大のための海外企業のデータなど、『「ワンストップサービス」を』という声も紹介。

今回「仕分け」をネットの同時中継で見た人は6万人。会場には多くの方が詰めかけた。フルオープンの政策議論は民主主義の基礎。提言を出して終わりではなく、実現のための見張り番をやりたい。

## 提言型政策仕分け・大阪ダブル選挙のアツイ2週間

### 15日（火）

- 10:30 「交通基本法」勉強会
- 12:30 本会議
- 13:00 岩波書店「世界」取材
- 14:00 「オバマ政権の課題」調査報告
- 15:10 行政刷新会議事務局「仕分け」打ち合わせ
- 16:00 国土交通（国交）コアメンバー会議
- 18:15 政策調査会（政調）役員会
- 19:00 震災復興特別（復興特）委員合理事会合

22:00 翌1:00まで、原子力政策転換勉強会

### 16日（水）

- 8:40 原子力研究者意見交換
- 9:40 ダム問題打ち合わせ
- 10:00 まちづくり関係意見交換
- 11:00 日韓議員連盟総会・事前勉強会
- 13:30 商工関係者意見交換
- 15:00 韓国大使館参事官と意見交換
- 16:00 国交部門会議
- 17:15 社会保障と

税調査会ヒアリング  
19:00 湯浅誠氏らと社会的包摂政策の意見交換

### 17日（木）

- 9:10 憲法審査会
- 12:00 ブータン国王演説
- 14:00 本会議
- 17:00 政調役員会
- 19:00 ジャーナリスト意見交換

### 18日（金）

- 8:30 教育関係者意見交換
- 10:00 仕分け最終勉強会
- 12:45 代議士会

13:00 本会議  
地元へ移動、大阪府知事選挙の応援へ

### 19日（土）

- 午前中地元コミュニティの文化祭出席
- 13:00 神戸・NPO法研修会で講演  
大阪ダブル選挙応援

### 20日（日）

- 9:30 仕分け開会式
- 10:00 仕分け初日「原子力」終日傍聴、資料準備

### 21日（月）

- 9:40 仕分け本番打ち合わせ
- 10:00 仕分け「教

育」「科学技術」  
18:00 記者会見

### 22日（火）

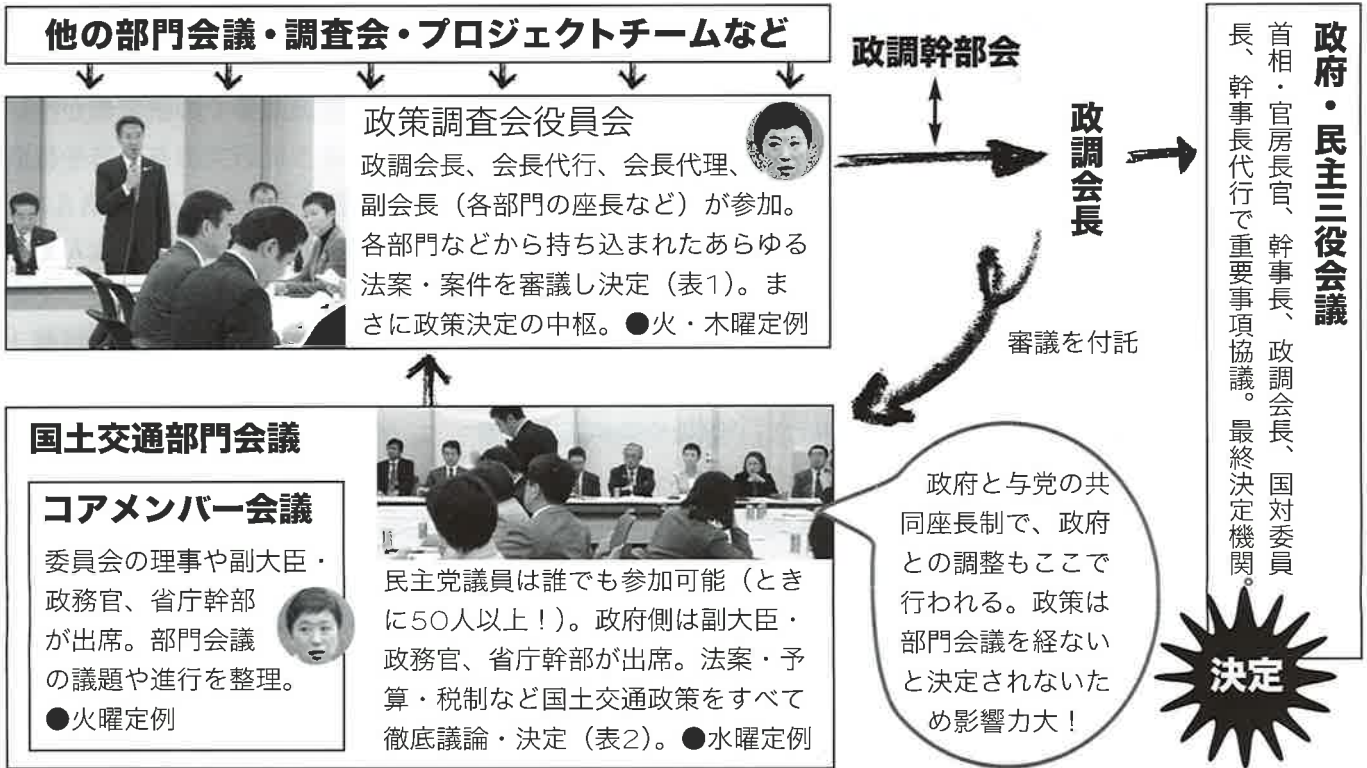
- 資料準備
- 10:00 事務局会議
- 15:40 復興特委員会
- 19:30 国交政務三役・理事意見交換

### 23日（水・祝）

- 11:00 仕分け本番打ち合わせ
- 13:00 仕分け「中小企業」
- 18:00 記者会見

### 24日（木）

- 10:00 税制調査会総会
- 11:30 韓国情勢に



# 図解・政府与党の政策決定のしくみ 政策調査副会長II与党政策決定 のど真ん中で働いています！

辻元清美が国土交通副大臣を務めていたときと、政府与党の意思決定のしくみは大幅に変わりました。当時は民主党に「政策調査会」がなく、各省庁の「政府三役会議」の決定が非常に重かったのです。衆参各委員会に対応する部門会議も開かれていましたが、政府側の主催であり、「決定事項の伝達に過ぎない」「党側の意見が反映されない」といった声がありました。政権交代後、意思決定のしくみそのものを変えようと、試行錯誤の日々でした。

のちに政策調査会が復活し、さらに前原政調会長になって機能が強化されました。各部門会議で議論を積み重ね、政調役員会を通さなければ、あらゆる政策決定ができないしくみになりました。辻元はこの民主党の政策決定の中核といえる政調役員会に、政調副会長として参加しています。

辻元は、現在「国交委員会理事」として「国交コアメンバー会議」「国交部門会議」に出席し、国土交通に関わる政策審議を行っています。

そこでの決定事項が毎週二回の「政調役員会」に持ち込まれるのですが、国交関係だけでなくすべての部門やプロジェクトチーム、調査会などの案件が持ち込まれ、細かく検証されます。ときには激しい議論になることもあり、緊張感のある会議です。例えば下から積み上げたものでも、大きな異論があれば通らないわけですから、議題を提出する側も真剣。

この会議への参加権を持ったということは、「議題の提出権」と同時にいざというときの「拒否権」を持つようなもの。しっかりと議論し、しっかりチェックしていきます。

なお、辻元は特定の部門をまとめる座長ではなく、「会長指名の特命副会長」として、「新しい公共」をはじめ重要政策を受け持っています。

これまでは官僚まかせだった政策議論を、一つひとつ丁寧に行っていくプロセスは、政権交代を象徴する光景。その「与党政策決定のど真ん中」で、辻元清美はしっかりと働いています！

辻元清美が国土交通副大臣を務めていたときと、政府与党の意思決定のしくみは大幅に変わりました。当時は民主党に「政策調査会」がなく、各省庁の「政府三役会議」の決定が非常に重かったのです。衆参各委員会に対応する部門会議も開かれていましたが、政府側の主催であり、「決定事項の伝達に過ぎない」「党側の意見が反映されない」といった声がありました。政権交代後、意思決定のしくみそのものを変えようと、試行錯誤の日々でした。

のちに政策調査会が復活し、さらに前原政調会長になって機能が強化されました。各部門会議で議論を積み重ね、政調役員会を通さなければ、あらゆる政策決定ができないしくみになりました。辻元はこの民主党の政策決定の中核といえる政調役員会に、政調副会長として参加しています。

辻元は、現在「国交委員会理事」として「国交コアメンバー会議」「国交部門会議」に出席し、国土交通に関わる政策審議を行っています。

そこでの決定事項が毎週二回の「政調役員会」に持ち込まれるのですが、国交関係だけでなくすべての部門やプロジェクトチーム、調査会などの案件が持ち込まれ、細かく検証されます。ときには激しい議論になることもあり、緊張感のある会議です。例えば下から積み上げたものでも、大きな異論があれば通らないわけですから、議題を提出する側も真剣。

この会議への参加権を持ったということは、「議題の提出権」と同時にいざというときの「拒否権」を持つようなもの。しっかりと議論し、しっかりチェックしていきます。

なお、辻元は特定の部門をまとめる座長ではなく、「会長指名の特命副会長」として、「新しい公共」をはじめ重要政策を受け持っています。

これまでは官僚まかせだった政策議論を、一つひとつ丁寧に行っていくプロセスは、政権交代を象徴する光景。その「与党政策決定のど真ん中」で、辻元清美はしっかりと働いています！

辻元清美・国会活動◎

# 「憲法の見張り番」からエネルギーシフトまで

## 憲法審査会でチェック

一月一七日、ついに開催された憲法審査会。自由討論の時間、まず自民党議員から憲法第九六条「改憲発議に必要な国会議員の賛成」を「過半数に緩和を」という意見が。辻元はすぐに手を上げ「立憲主義の意味について共通認識を」と訴えました。国会議員には憲法第九九条の憲法尊重擁護義務があり、「憲法は国民の側から示された為政者が守るべきルールだ、という認識をもって議論すべき」と主張。新しい議員などには「憲法は国民がもてるべき最高のルールだ」と勘違いしている人がいるため釘をさした形。その他以下を発言しました。

◎憲法調査特別委員会で

は、当時の安倍総理が「私

の内閣で憲法改正を実現する」と述べるなど、憲法を遵守すべき行政の長が改憲を公約にすることが問題にされた。

◎欧州視察の際、国論を二分する問題は「ここを変えて」という国民大多数の意見が起きてはじめて、国会がどう応えるかという姿勢で臨むべき、という指摘あり。

◎改憲のハードルを低くすると、政権交代のたびに憲法が変わる可能性もあり、政治が不安定になる。

その後、自民党議員から改憲を急ぐ意見が相次いだ。辻元はもはや国会憲法論議の最古参メンバーの一人。立憲主義とは何か、という根本から議論を進めて

いきます。

## 震災復興を急げ

辻元は国交委員会と東日本震災復興特別委員会に所属。今国会では二重口問題等の他、「津波防災まちづくり法案」「復興特区法案」を審議、衆議院通過。被災地視察にも参加し、NPOと継続して連携中。

また、民主党の「私鉄交通政策議員懇談会」事務局長に就任し、交通基本法成立後のビジョンなどを勉強。今国会での成立に向け、最後まで働きかけます。

## アジア外交を進める

超党派の日韓・韓日議員連盟合同総会でソウルへ。李明博大統領とも青瓦台（大統領官邸）で会談。災

表2 <10月21日の例>

●議事  
調査会などの役員選任／来年度税制改正重点要望（国交部門）／第3次補正予算案／臨時国会提出予定法案（閣法：「津波防災地域づくり法案」「復興特区法案」）

## ●政府側出席者

両副大臣／両政務官／官房長／総括審議官／各局長（総合政策局・国土政策局・都市局・道路局・住宅局・鉄道局・自動車局・海事局・港湾局・航空局など）／各長官（観光庁・気象庁・海上保安庁）など

害時の燃料供給などの相互協力について話し合う。安

保・外交の議員間で意見交換。また韓国の議員は「原爆被害者と『慰安婦』への賠償」に関する憲法裁判所判決に関心大。超党派「在外被爆者に援護法適用を実現させる議員懇談会」事務局長として、公明党の斉藤鉄夫会長とともに政府に申し入れの予定。また新ソウル市長の朴元淳さんは「ピースポート時代からの知り合い。韓国の政治のダイナミズムはすごい」と実感。

## 社会的包摂の推進と改正NPO法行脚

辻元が座長代理を務めた「一人ひとりを包摂する社会」特命チームが緊急政策提言を出して二カ月。被災

経験をもつ自治体首長などが発起人となって「社会的包摂サポートセンター」を

設立、被災者の心の相談を受ける「寄り添いホットライン」を開設しました。

0120-279(つなぐ) 1338(ささえる) 毎週土・木曜 10時〜12時 ※来年二月二九日まで

また辻元は全国を回って自治体議員・職員とNPOの合同研修会に参加、新寄付税制をキャンペーン中!

## エネルギーシフトへ

菅政権で打ち出した「脱原発依存」を進めるのが政権に関わった者の責務。飯田哲也さんをはじめ研究者や金融関係のメンバーと、政府に提言をするための意見交換を重ねています!

# 辻元清美・対話録◎飯田哲也さん(環境エネルギー政策研究所所長) 上野千鶴子さん(東京大学名誉教授)

国政報告会「永田町航海記」での対話から、抜粋して紹介します。

**辻元** 飯田さんと初めて会ったのは二〇年前国連主催のブラジル地球サミット。市民フォーラム2001をつくり共に活動してきた。

**飯田** 社会人として一〇年間、原子力の裏舞台を垣間見るなかで、あまりに中身の無い正体に気付いた。「世界でもっとも進んだ原子力技術を持った日本」というのはハリボテ。3・11後、原子力の専門家があれだけ官邸にいたのに何故危機対応ができなかったのか。危機意識そのものがなかった。日本の原子力の専門家には原子力を扱う資格がない。今回の危機の中でもまったく無能だったということが明らかとなった。

**辻元** 今回、菅総理が「脱・原発依存」と発言するまでのプロセスも容易ではなかった。水素爆発のあと、このまま事態が進めば横浜市近くまで三千万人の

避難を考えなければならぬ。呆然とした。菅総理が搾り出すように言ったのは「この狭い国土で、しかも地震が多い日本で原発との共存は無理だ」。私は「菅さん、そのことをみんなに言おうよ」と進言した。

**飯田** 私たちは原発が停まっても絶対に停電は起きないという詳細レポートを出していた。電力のピークは一年のうち約五時間、そこだけ減らせば問題はない。

**辻元** 飯田さんは政府内に設置された総合資源エネルギー調査会基本問題委員会の委員、内閣官房原子力事故再発防止顧問会議の委員に就任。脱原発派も推進派も一緒のテーブルでフルオープンで議論していく。

だから倍々で増える。今、太陽光をやっているのは一〇年未満の企業が殆ど。そこに日本の企業の名前は殆どない。企業としても遅れをとっている。国のエネルギー政策のみならず産業政策としても間違っている。二〇年先を見据えて何を選択するか。どうやって新しいルールを作り、いい社会を作っていくかということ。皆さんと一緒に考え行動していきたい。【高槻市立生涯学習センターにて】

**上野** 日本が未だに原発をやめられないのは核武装の準備のため。日本は「国連安保理に入り、世界の列強に伍して肩を並べたい」という悲願を持ち、保守系議員は「核武装さえすれば安保理に入れる」と主張してきた。原発と核武装がセットになっっているからこそ、私たちは憲法九条を再認識

しなければ。「非武装」の中には当然、「非・核武装」が含まれているのだから。人口が減ってゆく社会に成長はない。諦めて下さい。でも超高齢化社会では、互いにお世話し合うことでおカネと人手とサービスが回るから一人当GDPは上げられる。これが小さくても豊かな国の姿です。

**辻元** 私はアメリカの保守派の人たちを辺野古の海に案内している。政治学者のジェラルド・カーティスさんもお連れしたが、彼は日米の議員や経済人が参加する「下田会議」で「辺野古に基地は作れない」と発表。私はこの会議で米国の女性議員たちに米軍の性暴力の実態について基調報告を行い共感を呼んだ。こうした活動が米議会側の「辺野古に基地を作るのは無理だ」という声に繋がった部分もある。自分と反対の立場の人に「あれはちょっと難しい」と言わせられたとき物事は大きく動く。

**上野** 私は自社さ政権のときに自衛隊を合憲にした社民党は嫌い。沖縄特措法に賛成した民主党も嫌い。社民党も民主党も応援しないが、彼女個人は応援する。辻元さんが「実現したい政策があるからこそ、政権党に入って世の中を変えたい」と言った。彼女には私心がない。金で動かない。そして彼女ほど現場をよく知る政治家はいない。例えばどんな政党に入ろうとも、この人の信条は変わらないと思う限りは、彼女を応援します。

【衆議院議院議員会館にて】



# 多所彩々 辻元清美の活動報告<抜粋>

## 9月

21日 国土交通(以下、国交)部門会議。  
 22日 労働組合大会出席。  
 23日 地域スポーツ大会(高槻市)。  
 24日 コミュニティー祭り。街頭演説(高槻市)。  
 25日 三箇牧戦争犠牲者追悼記念式。街頭演説(高槻市)。  
 26日 早朝街頭演説(高槻市)。国交部門税制改正要望団体ヒアリング。  
 27日 国交部門税制改正要望団体ヒアリング。国交コアメンバー会議。新宿口フトプラスワントークライブ。  
 28日 講演(大阪)。  
 29日 岩波書店取材。中国建国62周年祝賀レセプション。  
 30日 東日本大震災復興特別(以下、震災復興特)委員会。国交委員会。国交部門会議。本会議。両院議員総会。都和子政務官へ災害ボランティア担当業務引継ぎ。

## 10月

1日 民主党大阪府常任幹事会(大阪)。講演「NPO法改正」(神戸)。  
 2日 市民ふれあい運動会、街頭演説(高槻市)。  
 3日 原稿執筆。  
 4日 経済団体面談。国交鉄道局レクチャー(以下、レク)「三陸鉄道」。経済産業調査室レク「自然エネルギー」。国交コアメンバー会議。岩波書店取材。  
 5日 震災復興特委員会。ANA社長面談。国交部門会議。米大使館員面談。  
 6日 国交委員会委員派遣(岩手県)。  
 7日 辻井喬氏面談。  
 8日 人間の安全保障フォーラム・シンポジウム(東京)。民主党10区総支部幹事会、挨拶「グラウンドゴルフ大会」(高槻市)。  
 9日 野見神社秋祭り、街頭演説(高槻市)。  
 10日 高槻市スポーツ祭、食の文化祭、街頭演説(高槻市)。  
 11日 早朝街頭演説(高槻市)。農林水産調査室レク。国交・航空局レク、佐高信氏、辛淑玉氏面談。

12日 学生震災ボランティア団体面談。国政報告会『永田町航海記in国会(上野千鶴子氏と)』。JR貨物面談。経済団体面談。パルシステム理事長面談。  
 13日 新しい公共調査会打合せ。観光庁長官面談。国交鉄道局レク。園遊会。経済団体面談。雑誌『週刊金曜日』インタビュー。毎日放送取材。  
 14日 国交部門会議。財務金融調査室レク。鉄道の日祝賀会。  
 15日 NPOフェスタ、国政報告会『永田町航海記(飯田哲也氏と)』(高槻市)。  
 16日 島本反核平和人権フェスティバル、被災地報告in亀屋旅館、地域運動会、文化祭、街頭演説会、農協意見交換(高槻市)。  
 17日 早朝街頭演説(高槻市)。  
 18日 資料整理、原稿執筆。  
 19日 経済産業調査室レク。水野和夫審議官面談。岩波書店取材。  
 20日 東日本大震災復興旧復興検討プロジェクトチーム(以下、PT)。本会議。震災復興特委員会。  
 21日 原発事故収束対策PT。憲法審査会。経済連携PT総会。震災復興特委員会。民主党大阪府連所属国会議員団会議。国交委員会。国交部門会議。  
 22日 民主党10区震災復興支援・国政報告会。濱田高槻市長面談。地域文化祭・敬老の集い、街頭演説会(高槻市)。  
 23日 地域コミュニティ祭り(高槻市)。民主党NPO法意見交換会(福井市)。  
 24日 早朝街頭演説(高槻市)。震災復興特委員会。保坂展人世田谷区長を励ます集い。  
 25日 私鉄交通政策議員懇談会総会。ジェラルド・カーティス氏面談。国交コアメンバー会議。政調役員会。  
 26日 国交委員会。国交部門会議。  
 27日 港湾を考える全国集会。内閣府行政刷新会議事務局レク。原子力バックエンド問題勉強会。政調役員会。  
 28日 厚生労働調査室レク。政策仕分け議員打合せ。本会議。岩波書店

取材。  
 29日 講演「社協ボランティアフェスティバル」、地域文化祭(高槻市)。  
 30日 地域運動会・文化祭(高槻市)。民主党大阪府連躍進の集い(大阪)。  
 31日 新しい公共推進会議打合せ。本会議。経済産業調査室レク。

## 11月

1日 憲法審査会と党委員勉強会。国交コアメンバー会議。本会議。政調役員会。政策仕分けヒアリング「科学技術・大学」。  
 2日 農林水産調査室レク「若者就業支援」。国交部門会議。社会保障と税の一体改革調査会・税制調査会合同総会。  
 3日 高槻市文化の日式典、地域文化祭、街頭演説会(高槻市)。  
 4日 政策仕分けヒアリング「中小企業対策事業」。岩波書店取材。  
 5日 民主党大阪府10総支部幹事会、地域文化祭、街頭演説会(高槻市)。  
 6日 島本町文化祭式典、北摂高槻生協「いきいきごちそう祭」、地域文化祭(高槻市)。  
 7日 早朝街頭演説(高槻市)。本会議。  
 8日 民主党大阪府連所属国会議員団会議。文部科学調査室レク。国交コアメンバー会議。政調役員会。校野経産大臣面談。  
 9日 米大使館員面談。朝日新聞取材。海上保安庁長官面談。文部科学部門会議。  
 10日 本会議。政調役員会。政策仕分け勉強会「中小企業」。  
 11日 社会保障と税の一体改革調査会総会。国交部門会議。国交コアメンバー会議。経産調査室レク。政策仕分け準備。  
 12日 民主党NPO説明会(福岡市・北九州市)。  
 13日 高槻農林業祭、地域文化祭(高槻市)。  
 14日 早朝街頭演説(高槻市)。震災復興特委員会。上野千鶴子氏、辛淑玉氏、石坂啓氏と懇談。  
 15日 私鉄交通政策議員懇談会総会。本会議。外務調査室レク。政策仕

分け打合せ。国交コアメンバー会議。政調役員会。  
 16日 日韓韓連合同総会事前勉強会。大阪商工会議所面談。韓国大使館員面談。国交部門会議。社会保障と税の一体改革調査会総会。湯浅誠氏面談。  
 17日 憲法審査会。ブータン王国国王陛下の国会演説参列。本会議。政調役員会。マスコミ懇談。  
 18日 政策仕分け勉強会「大学・科学技術」。本会議。  
 19日 民主党NPO説明会(神戸)。大阪府知事選挙応援(大阪)。地域文化祭(高槻市)。  
 20日 政策仕分け「原子力・環境」傍聴。  
 21日 政策仕分け「教育・大学」。政策仕分け「科学技術・研究開発」。  
 22日 震災復興特委員会。国交懇親会。  
 23日 政策仕分け「中小企業」。  
 24日 外務調査室レク。本会議。震災復興特委員会。専門情報誌『女性展望』鼎談(村木厚子氏、西館好子氏と)。経済・金融勉強会。  
 25日 郵政等三党合意を実現する会。国交委員会。BS朝日『クロスファイア』収録。大阪市市長候補平松邦夫個人演説会応援弁士(大阪)。  
 26日 大阪府知事選挙、大阪市長選挙応援(大阪)。  
 27~28日 日韓韓日議員連盟合同総会inソウル。李明博大統領と会談。  
 29日 震災復興特委員会。奈良県大淀町長面談。本会議。憲法審査会と党委員打合せ。国交委員会。政調役員会。  
 30日 部落解放人権政策確立要求中央集会。党首討論。国交部門会議。

## 12月

1日 憲法審査会。本会議。原子力バックエンド問題勉強会。JAL面談。講談社月刊誌『G2(ジーツー)』取材。政調役員会。保坂展人杉並区長面談。  
 2日 民主党憲法調査会総会。  
 3日 講演「連合東京女性セミナー」(東京)。労組懇親会(宝塚市)。  
 4日 地域文化祭、街頭演説、民主党大阪府10総支部議員会議(高槻市)。  
 5日 早朝街頭演説(高槻市)。

# 清美in近畿 ボランティアで日本再生!



写真左上) 10月29日、高槻市社会福祉協議会主催の「ボランティアフェスティバル」で、東日本大震災における災害ボランティア担当首相補佐官としての対応と現状を報告。

写真左下) 10月30日、地元の運動会でラジオ体操。

写真右) 12月4日、高槻市内で街頭演説。小さな子どもも声をかけてくれます。



# 来年は勝負の年!?! 2012年限定のお願いです。 これまでに倍するご支援を!

辻元清美は、具体的に社会を変えます(浜岡原発を止め、NPO法改正を実現したように)。  
無理を承知のお願いです。これまでのご支援を「**2倍**」にしてもらえないでしょうか。  
エネルギーシフトを進め、社会の新しい形をつくるために、  
2012年は、辻元清美の活動を「**2倍**」にしたいのです。そして、

## お知り合いをご紹介ください。

※同封のご紹介シートをご利用ください。

つじともネットは、

①大阪10区だけでなく**全国のどなたでも**参加できます。年会費は3000円。

②「**金銭的にサポートしよう**」という方は**月1000円**。

そして**寄付**をお願いします。

◎つじともネット会員

会報「つじとも通信」を年2~3回お届けする他、国政報告会「永田町航海記」等のご案内を差し上げます。

サポート会員：年 12,000円 ※毎月1,000円の郵便貯金自動引き落としもご利用いただけます。

一般会員：年3000円 学生会員：年1,000円

個人特別賛助会員：年50,000円/一口(寄付金扱い・上限30口迄)

郵便振替 00960-3-150256 加入者名 辻元清美とともに!市民ネットワーク

※なお、政治資金規制法により、「つじともネット」への寄付金は日本国籍の個人に限られています。団体・法人からの会費・寄付金のお申込はできません。

### きよみインフォメーション

## 辻元清美特製カレンダー2012 絶賛発売中!

A2サイズ1枚もの(縦594mm×横420mm)  
定価:300円(送料210円)

つじとも通信に同封の返信用ハガキか、メール、電話、FAXでお申込みください。代金はカレンダー到着後、同封の払込用紙にてお支払いください。



## ■辻元清美国政報告会 新春永田町航海記

日時●2012年2月5日(日)

13:30~15:00

会場●高槻現代劇場(新館)3Fレセプションルーム

ゲスト:細野豪志環境大臣、原子力発電所事故収束・再発防止担当大臣、内閣府特命担当大臣(原子力行政担当)

要予約、入場無料

※保育あります

(年齢制限はありません/要予約)



ゲスト:細野豪志大臣

予約・申し込み・問い合わせ●

TEL072-686-2395 FAX072-686-2396(つじともネット)

e-mail: info@kiyomi.gr.jp